

2024年10月

各宣教区長

災害対策部

先の研修会オプション枠にて、災害対策担当者会合をもちました。全宣教区から総勢 18 名の参加があり、有意義な話し合いをすることができました。事前選出等の調整を感謝します。会合で話し合われた内容をまとめました。各宣教区会議時にて、下記項目に取り組んでいただけますようお願い申し上げます。また、今年の「防災訓練」の書き込みは 80 教会を超えたところです。目標の 100 教会実施へ今一度区内教会へ共有いただけますと感謝です。

<記>

発災時の連絡網構築について

- ・ 災害時、迅速に安否確認が取れるように全教師間で LINE グループを作成する*
 - ・ LINE が難しい教師の場合は電話連絡とする(漏れる教会、教師がいないように)
 - ・ 宣教区内の支援教師、引退教師は必須ではないが、必要に応じて連絡網に入れる
 - ・ 安否確認の完了は災害発生から 2 時間(目安)とする
 - ・ 「緊急災害情報掲示板」に書き込む(安否や情報共有)
- *災害時は電話回線よりもネット回線がつながりやすい

書き込みの目安

いつ?①震度 5 弱以上、台風・局地豪雨等、災害規模に合わせて

②災害対策部から安否の問い合わせがあったとき

誰が?①各教会担任教師から

②宣教区災害担当者から

今後の取り組みについて

- ・ 各宣教区で他団体との防災ネットワークがあれば加盟する
- ・ 各宣教区で消防士、重機運転手、調理師、看護師、高齢者施設職員、障がい者施設職員等の人材を把握しておく
- ・ 各宣教区で防災士、救命員資格の取得を推奨する(*各自治体から情報を得る)
- ・ 震災ボランティアに積極的に参加、派遣し、経験を積む
- ・ 年に数回開催予定の災害対策部主催のオンラインセミナーを利用する(自由参加)
- ・ 災害対策部員の派遣制度を活用し(費用は部費支出、部員に現役消防士含む)、防災意識向上や発災時の対応について学ぶ

以上